



九州大学「第九」日本人初演 100周年記念事業

# 九大フィルハーモニー・オーケストラ 第九特別演奏会



2024  
**9**  
**16**

月・祝

## 第1部

100年前の「摂政宮殿下御成婚奉祝音楽会」再演

メンデルスゾーン / 結婚行進曲

初演の「新編奉祝歌（「第九」第4楽章の一部替歌）」再演

## 第2部

「第九」全曲演奏

ベートーヴェン

交響曲第9番ニ短調「合唱つき」全曲

開場 13:00

開演 14:00

会場：アクロス福岡シンフォニーホール



©Marco Borggreve

指揮  
鈴木優人

(九州大学客員教授)

独唱

ソプラノ：澤江 衣里  
アルト：布施 奈緒子  
テノール：山本 耕平  
バリトン：加藤 宏隆

お問い合わせ



<https://kyudaiphil.com>



[quphil.dai9.2024@gmail.com](mailto:quphil.dai9.2024@gmail.com)

(広報) 御厨 080-8585-5054

(渉外) 山本 080-1782-1840

チケット



3,000円



2,000円



1,000円

2024年9月14日(土)に指揮者の鈴木優人氏による講演会『指揮者から見たベートーヴェンの「第九」』を九州大学において開催いたします。詳細は大学ホームページをご覧ください。





## 日本で愛され続ける『第九』

### 100年にわたる歴史の始まりが九大フィルに—

ベートーヴェン作曲の交響曲第9番は、「歓喜の歌」あるいは「第九」として親しまれ、国民的楽曲として全国各地で演奏されています。本曲は1824年にウィーンで初めて演奏されましたが、その後1924年1月26日、九大フィルハーモニー・オーケストラの前身である九州帝国大学フィルハーモニー会が、昭和天皇の御成婚を祝って第4楽章を日本人で初めて演奏しました。



©Marco Borggreve

**鈴木 優人** / 指揮者  
Masato SUZUKI Conductor

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に就任。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、22年4月にはドイツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ：歌劇《ポッペアの戴冠》(2017)、ヘンデル：歌劇《リナルド》(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック：歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》(勅使川原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。23年10月には自身のプロデュースシリーズ第3弾としてヘンデル：歌劇《ジュリオ・チェーザレ》を兵庫、東京、横浜にて上演し絶賛を博した。24年2月にはモーツァルト《魔笛》をBCJと共にORCHARD PRODUCE 2024にて上演予定。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもとより、バッハの消失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

X / @eugenesuzuki

Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

### 澤江 衣里 / ソプラノ

Eri SAWAE Soprano

島根県益田市出身。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。日本学術振興会より奨学金を得て、ロンドン留学。第79回日本音楽コンクール2位入賞。第11回東京音楽コンクール最高位。声楽を永井和子、佐藤峰子に師事。2006年よりバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)のアンサンブル・メンバーとして研鑽を積む。ソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、BCJと共演。バッハ《口短調ミサ曲》、ロイド＝ウェバー《レクイエム》など後期バロックから現代まで幅広いレパートリーを持つコンサート歌手として活躍している。島根県ふるさと親善大使・遣島使。洗足学園音楽大学非常勤講師。

澤江衣里オフィシャル・ウェブサイト <https://www.eri-sawae.com>



### 山本 耕平 / テノール

Kohei YAMAMOTO Tenor

東京藝術大学大学院首席修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院修了。オペラでは『リゴレット』マントヴァ公爵、『椿姫』アルフレード等を演じている他、2022年にはウィリアムズバーグ・オペラ『ラ・ボエーム』に主演し、アメリカデビュー。「NHK ニューイヤーオペラコンサート」、「東急ジルベスターコンサート」等メディアへの出演も多い。キングレコードより《Mi manchi》《Non t'amo più》をリリース。令和4年度鳥取県文化奨励賞。とっとりふるさと大使。米子市首都圏観光大使。二期会会員



### 布施 奈緒子 / アルト

Naoko FUSE Alto

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」アモーレ・乳母、「オルフェオ」使者、ヘンデル「リナルド」ゴッフレード等を演じる他、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、メンデルスゾーン「エアリア」、ヴェルディ「レクイエム」等に出演するなどコンサートソリストとしても活躍。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の演奏および録音に参加し、「パウルス」公演でソリストを務める。



### 加藤 宏隆 / バス・バリトン

Hirotaka KATOH Bass-baritone

東京藝術大学卒業後、渡米。その後フィレンツェにて研鑽。二期会『ドン・カルロ』宗教裁判長、『バルジファル』グルネマンツ、バッハ・コレギウム・ジャパン『ジュリオ・チェーザレ』クーリオ、横須賀芸術劇場『カーリユー・リヴァー』修道院長等で出演。またコンサートでもベートーヴェン「第九」、バッハ「マタイ受難曲」等のソリストとして活躍している。今後は2024年2,3月二期会『タンホイザー』ヘルマンにて出演が予定される。二期会会員

九大フィルハーモニー・オーケストラは1909年に創立された、我が国のオーケストラの中では最も長い歴史を持つオーケストラの一つである。数々の有名な交響曲の日本人初演を行っており、1924年には皇太子(後の昭和天皇)の結婚を祝う「摂政宮殿下御成婚奉祝音楽会」にて、ベートーヴェンの交響曲第9番4楽章「歓喜の歌」を演奏した。戦後は、石丸寛氏(九州交響楽団創立者、永久名誉指揮者)や荒谷俊治氏(前日本指揮者協会会長、九大法・同文卒)、堤俊作氏(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団創立者)などの指揮を受け、発展を続けてきた。2014年より鈴木優人氏をミュージック・アドバイザーとして迎え、2018年には第200回定期演奏会を開催。同年にサントリーホールにて九大フィル史上初の東京公演を開催、その4年後の2022年には東京オペラシティコンサートホールにて第2回東京公演を開催した。

